

## 第4回

# 名古屋国道管内自転車安全利用協議会

—国道302号内側直轄国道ネットワーク計画の見直し（案）について—



平成30年3月7日（水）

※今後、関係機関との協議により整備計画を変更することがあります。



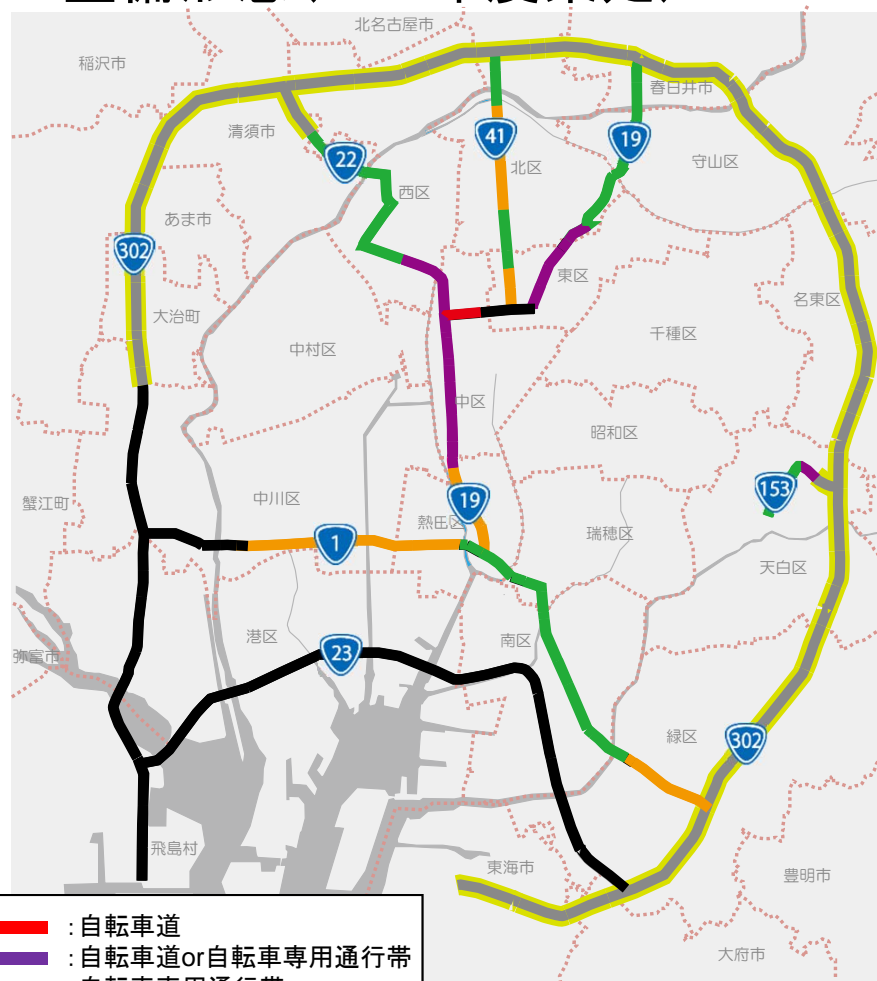
# ～ 目 次 ～

1. ネットワーク計画見直しの背景
2. 整備優先度の検討

# 1. ネットワーク計画見直しの背景

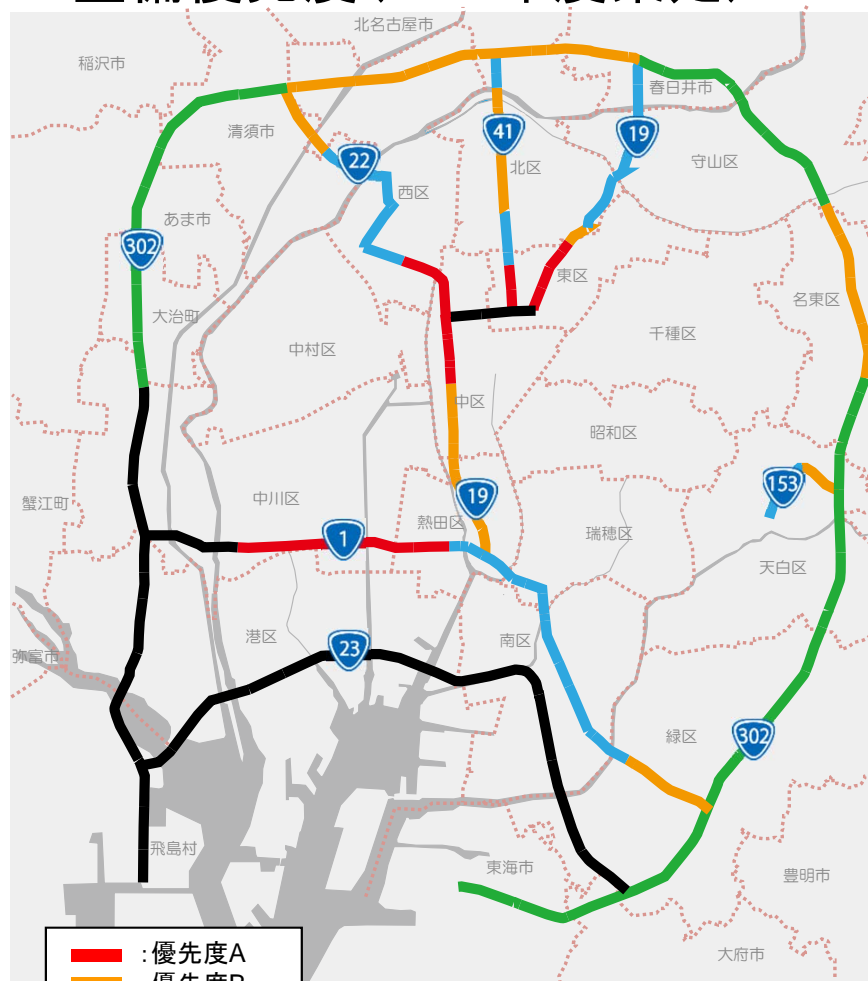
●H24年度に、整備形態及び整備優先度をとりとまとめたネットワーク計画を策定

## ■整備形態(H24年度策定)



- : 自転車道
- : 自転車道or自転車専用通行帯
- : 自転車専用通行帯
- : 車道混在
- : 副道や側道の利用
- : 検討対象外

## ■整備優先度(H24年度策定)

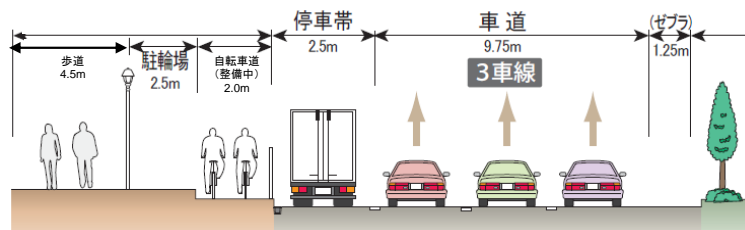


- : 優先度A
- : 優先度B
- : 優先度C
- : 優先度D

# 1. ネットワーク計画見直しの背景

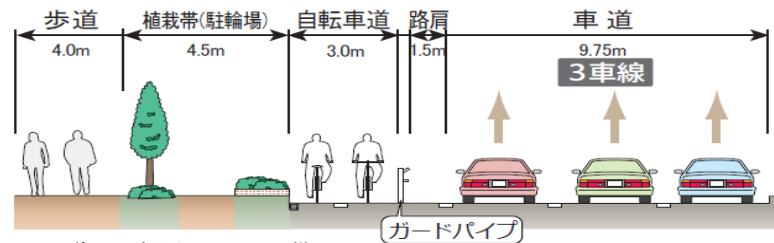
- ネットワーク計画を基に、名古屋市中心部の国道19号（伏見通、桜通）等において、自転車通行空間の整備を推進

## ① 自転車道（整備中）



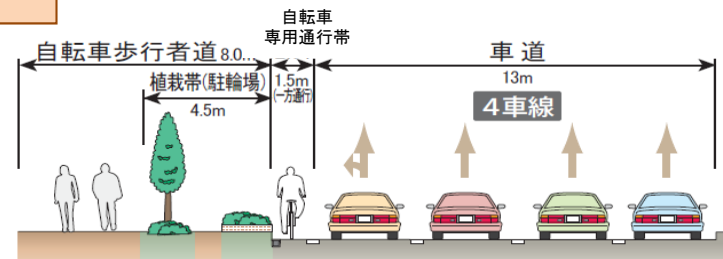
※国道19号伏見通：H20.7.15供用  
※H29年度に自転車道（双方向）へ改修し、若宮北交差点まで延伸

## ② 自転車道



※国道19号桜通：H23.6.23供用

## ③ 自転車専用通行帯



※国道19号桜通：H27.3.20供用（H27.7.5延伸）

## ■ 名古屋市



# 1. ネットワーク計画見直しの背景

- H28年7月に、「安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン」の改訂版が策定され、整備形態の考え方が変更
- H27年度の道路交通センサス調査や事故データの蓄積により、最新の交通状況が把握可能 ⇒本協議会では最新の交通状況を踏まえた整備優先度の検討について協議

## <ガイドライン改定による主な変更内容>

- ・暫定形態の積極的な活用
- ・自転車は車道走行・一方通行を基本

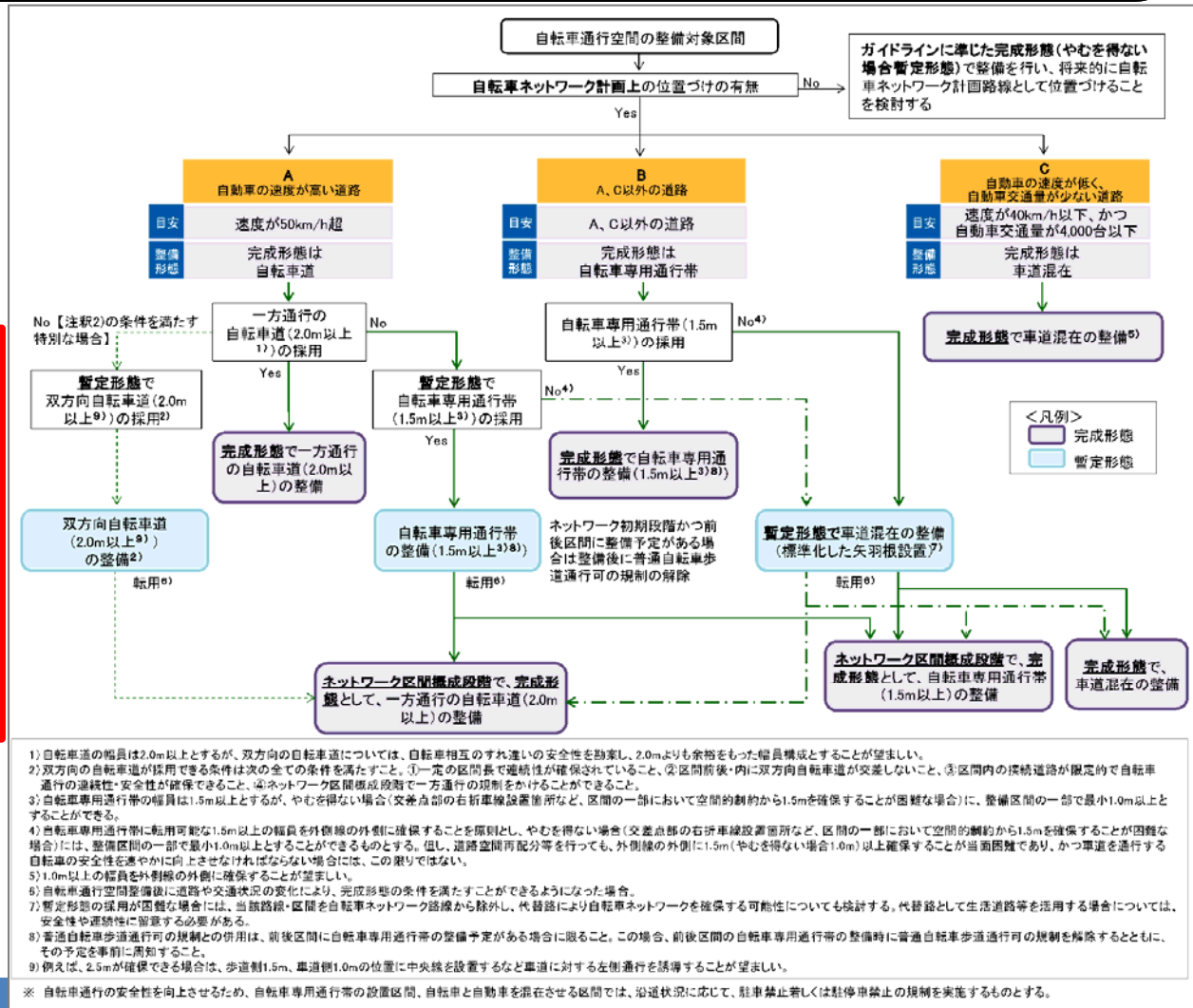
## <最近の交通状況を踏まえた検討>

- ・近年の道路整備等を踏まえた最近の交通状況(交通量、速度、事故件数等)に基づく検討を実施

※近年の道路整備状況

- ・国道302号全線開通(H23.3)
- ・名古屋高速4号東海線(六番北～木場)開通(H25.11)

※出典:安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン(H28.7)





# ～ 目 次 ～

1. ネットワーク計画見直しの背景
2. 整備優先度の検討

## ■ 整備優先度の検討

- 安全性・快適性の向上のため、「安全性」、「自転車利用者の需要」、「既整備区間との連続性」の3つの視点で整備優先度を検討
- 各区間の整備優先度を4段階に区分し、整備優先度が高い箇所の抽出を行う。

視点	指標	整備優先度の考え方（優先整備箇所）
安全性	自転車事故率	事故が多い箇所
	自転車×歩行者事故率	
	通学路指定状況	通学路指定がある箇所
自転車利用者の需要	自転車交通量	自転車利用が多い箇所
	自転車利用状況	
	沿線施設配置状況	周辺に学校や駅などが立地し、自転車利用が多いと想定される箇所
既整備区間との連続性	既存整備区間（調整中区間）との隣接区間	既に自転車通行空間が整備・調整されている箇所と隣接する箇所

※安全性・快適性の向上の観点から、以下の視点で整備優先度を検討

- ・安全性 : 自転車事故が多い区間、交通弱者が通行する区間(通学路指定箇所)は、早急に安全性の確保が必要であるため、優先的に整備
- ・自転車利用者の需要 : 自転車利用者の需要が多い区間は、自転車利用者が安全・快適に走行できるように、優先的に整備
- ・既存整備区間との連続性 : 既存整備区間と隣接する区間は、ネットワークの連続性を確保するため、優先的に整備

※調整中区間: 現在、整備に向けた調整を行っている区間

# 2. 整備優先度の検討

## ■ 整備優先度の検討(H24年度からの見直し)

視点	H24年度の指標	H29年度の指標	見直しのポイント
安全性	自転車事故率 (H19~H22)	自転車事故率 (H24~H27)	最新データに更新
	—	自転車×歩行者事故率 (H24~H27)	新規追加 (歩行者事故が多い箇所を優先的に整備)
	通学路指定状況	通学路指定状況	前回同様
自転車利用者の需要	自転車交通量 (H17センサス)	自転車交通量 (H17センサス+既存調査結果)	近年の交通量調査結果を 基に更新
	—	自転車利用状況 (H29WEBアンケート調査結果)	新規追加 (最新の自転車利用状況を基に自転車利用 が多い箇所を優先的に整備)
	沿道施設配置状況 (病院、学校、駅、公共施設)	沿線施設配置状況 (病院、学校、駅、公共施設、大 型商業施設)	大型商業施設を追加し、最新 データに更新
既整備区間 との連続性	—	既存整備区間(調整中区 間)との隣接区間	新規追加 (ネットワーク連続性を確保するため優先 的に整備)
現況整備 状況	名古屋市自転車整備計画に おける駐輪場未整備区間	—	駐輪場整備済箇所でも、歩行者と 自転車の分離を推進する必要がある ため、除外
	歩道内での分離整備の有無	—	車道走行を原則とした整備を行う ため、除外

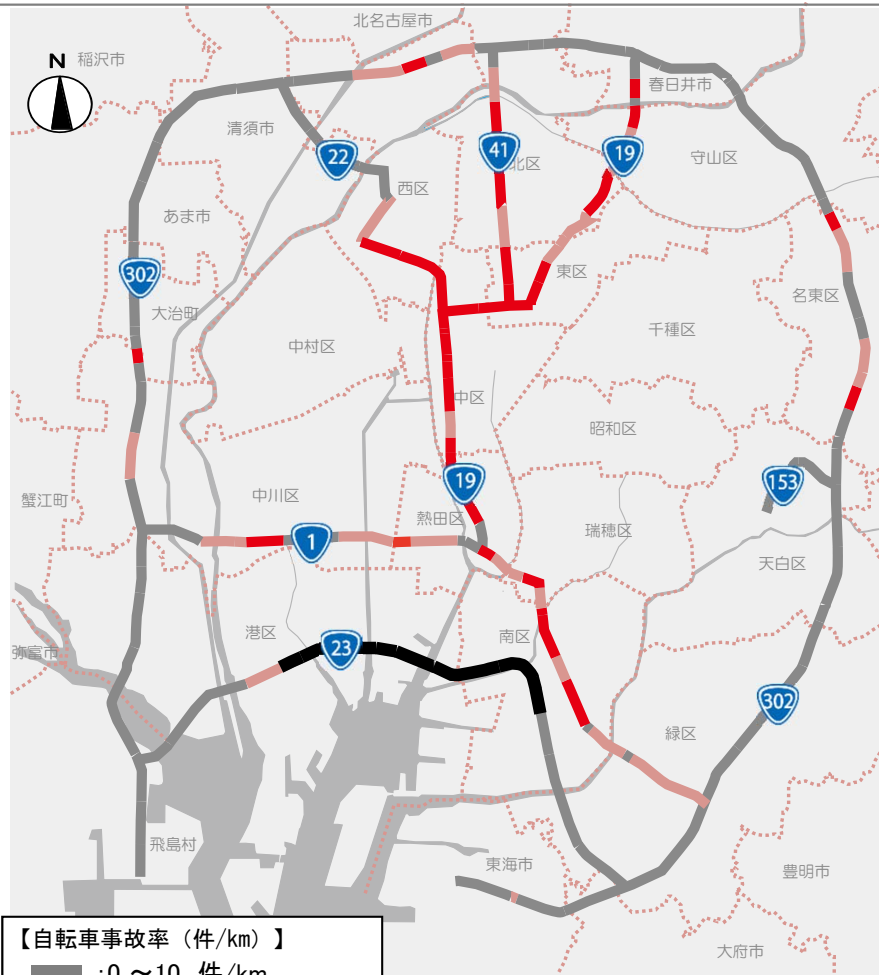


# 2. 整備優先度の検討

## 安全性1

### 自転車事故率

自転車事故率が高い箇所は、早急な安全対策が必要なため、整備優先度を高くする。



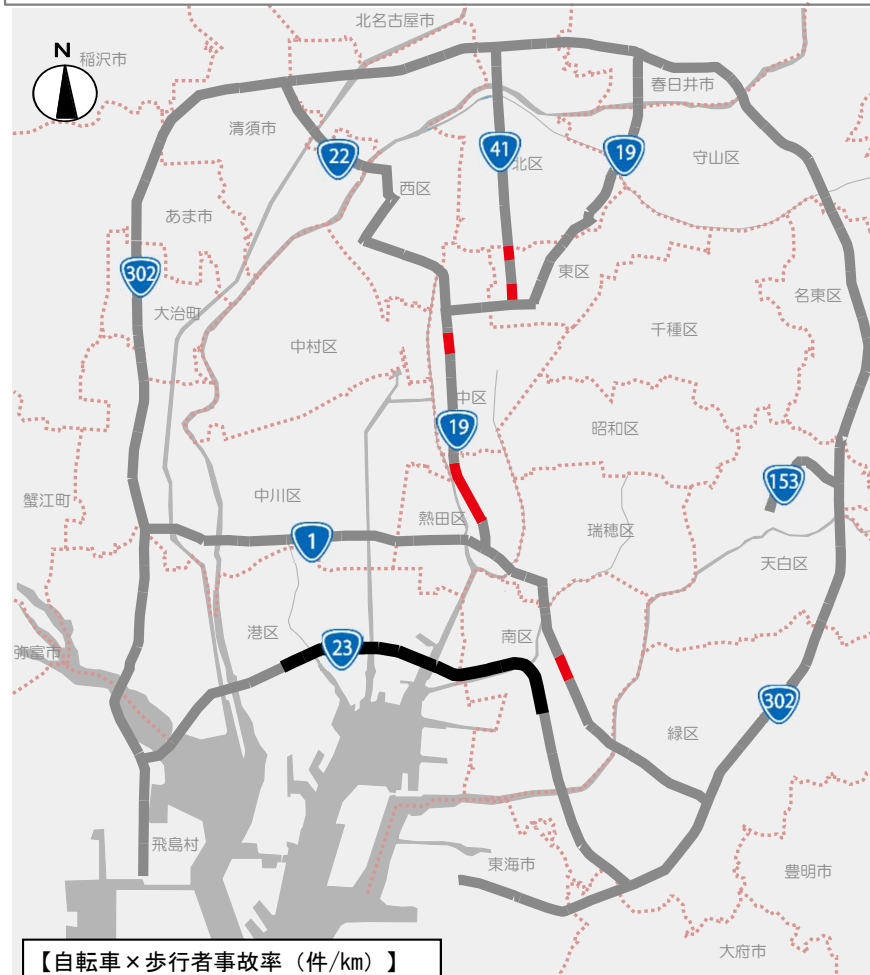
【自転車事故率 (件/km)】

- : 0 ~ 10 件/km
- : 10 ~ 20 件/km
- : 20件/km以上
- : 検討対象外(高架区間)

※イタルダ事故データ (H24~H27)  
※国道302号内側直轄国道の平均値 : 10.2件/km

### 自転車×歩行者事故率

自転車×歩行者事故率が高い箇所は、早急な安全対策が必要なため、整備優先度を高くする。



【自転車×歩行者事故率 (件/km)】

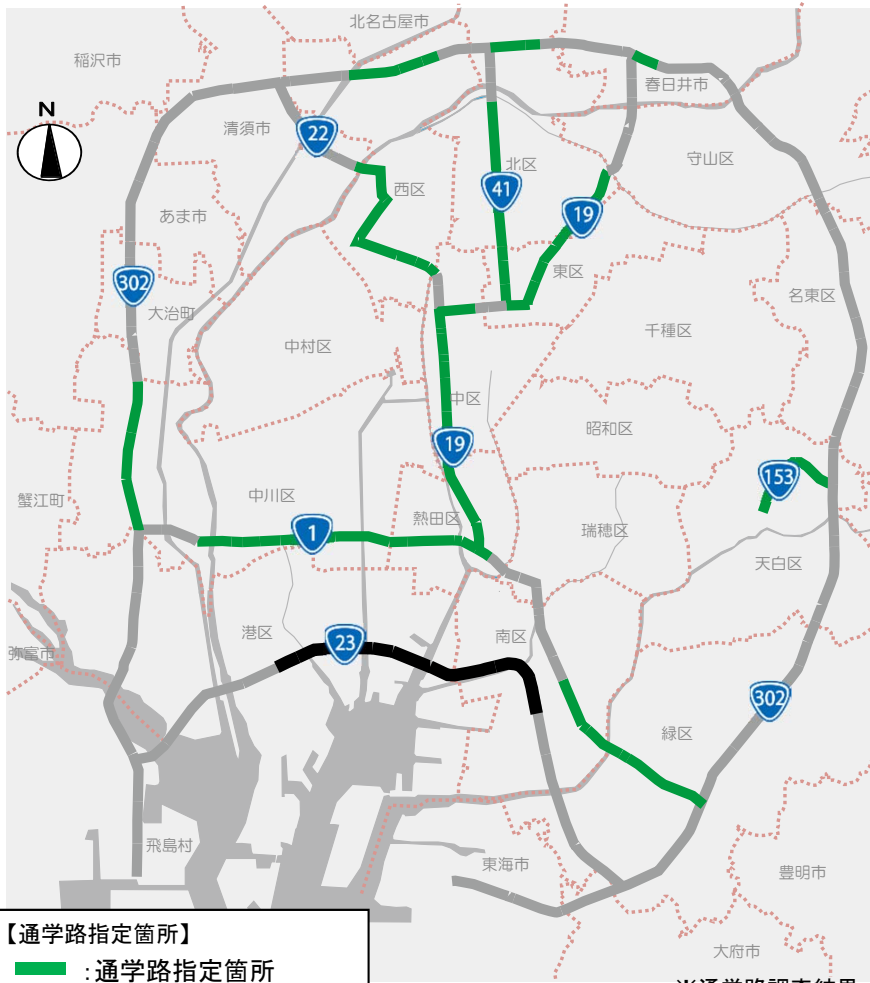
- : 0 件/km
- : 1 件/km以上
- : 検討対象外(高架区間)

※イタルダ事故データ (H24~H27)

## ■安全性2

### 通学路

通学路は、通学自動と自転車との接触等潜在的な危険があるため、整備優先度を高くする



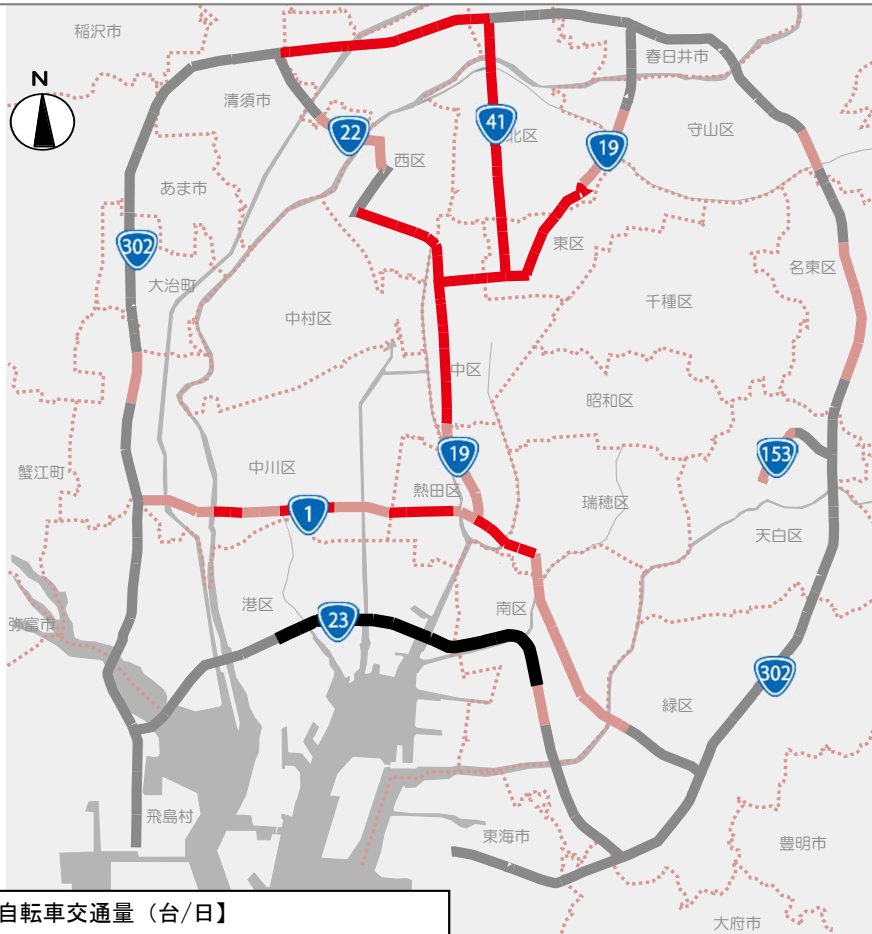
【通学路指定箇所】

- : 通学路指定箇所
- : 検討対象外(高架区間)

## ■ 自転車利用者の需要1

### 自転車交通量

自転車交通量が多い箇所は、自転車通行空間整備の需要が顕在化しており、早急な整備が求められているため、整備優先度を高くする。



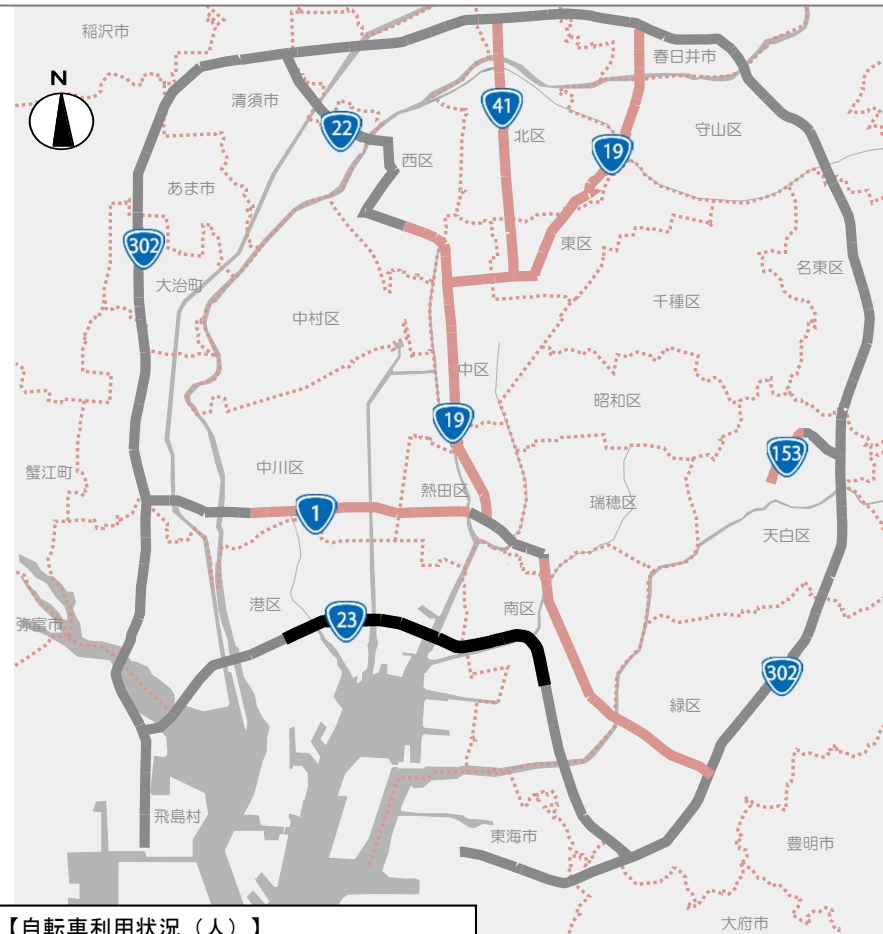
【自転車交通量（台/日）】

- : 0 ～ 700 台/日
- : 700 ～ 1,400 台/日
- : 1,400 台/日以上
- : 検討対象外(高架区間)

※H17道路交通センサス、既存調査結果  
※自転車交通を分離する基準値：約700台/日  
(道路構造令)

### 自転車利用状況

自転車利用が多い箇所は、自転車通行空間整備の需要が顕在化しており、早急な整備が求められているため、整備優先度を高くする。



【自転車利用状況（人）】

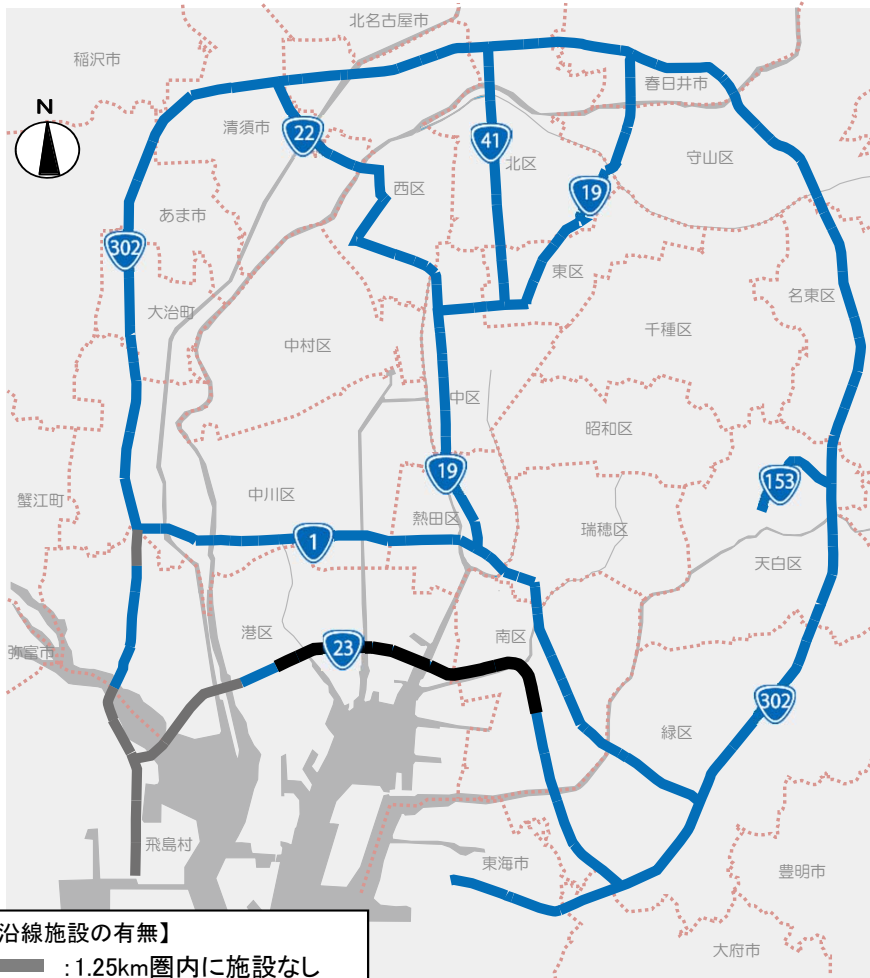
- : 0 ～ 108 人
- : 109人以上
- : 検討対象外(高架区間)

※WEBアンケート調査結果 (H29.7)  
※国道302号内側直轄国道の平均値：108人

## ■ 自転車利用者の需要2

### 沿線施設配置状況

自転車交通量が多いと想定される駅・学校・大型商業施設等からの1.25km圏内（自転車5分圏内）は、潜在的な自転車通行空間整備の需要があると考えられるため、整備優先度を高くする。



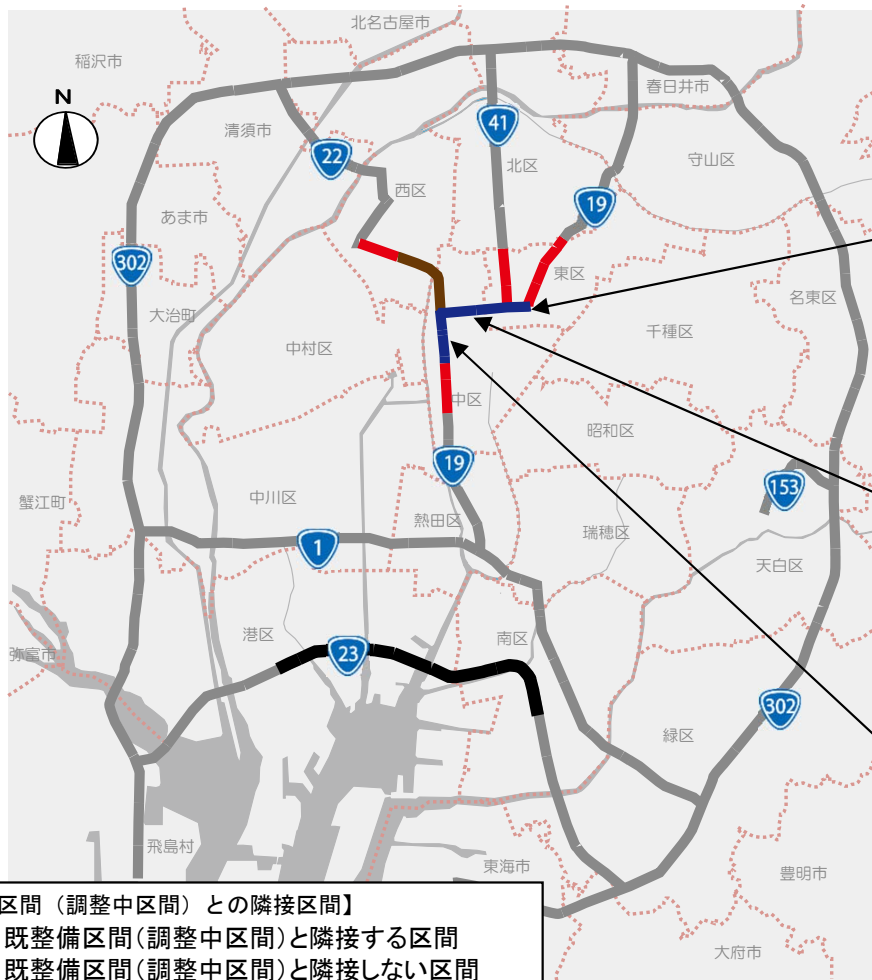
【沿線施設の有無】  
— : 1.25km圏内に施設なし  
— : 1.25km圏内に施設あり  
— : 検討対象外(高架区間)

※学校・駅・県庁・役場・病院・大型商業施設（10,000m<sup>2</sup>以上）から1.25km圏内（自転車5分圏内）の区間

## ■ 既整備区間との連続性

### 既整備区間(調整中区間)との隣接区間

既に自転車通行空間が整備されている区間（現在整備に向けた調整を行っている調整中区間）と隣接する区間については、連続したネットワークを構築していくために、整備優先度を高くする。



- 【既整備区間（調整中区間）との隣接区間】
- : 既整備区間(調整中区間)と隣接する区間
- : 既整備区間(調整中区間)と隣接しない区間
- : 既整備区間
- : 調整中区間(H30年度以降整備予定)
- : 検討対象外(高架区間)



### 自転車専用通行帯

※国道19号桜通: H27.3.20供用(H27.7.5延伸)



### 自転車道

※国道19号桜通: H23.6.23供用



### 自転車道(整備中)

※国道19号伏見通: H20.7.15供用  
※H29年度に自転車道(双方向)へ改修し、若宮北交差点まで延伸

# 2. 整備優先度の検討

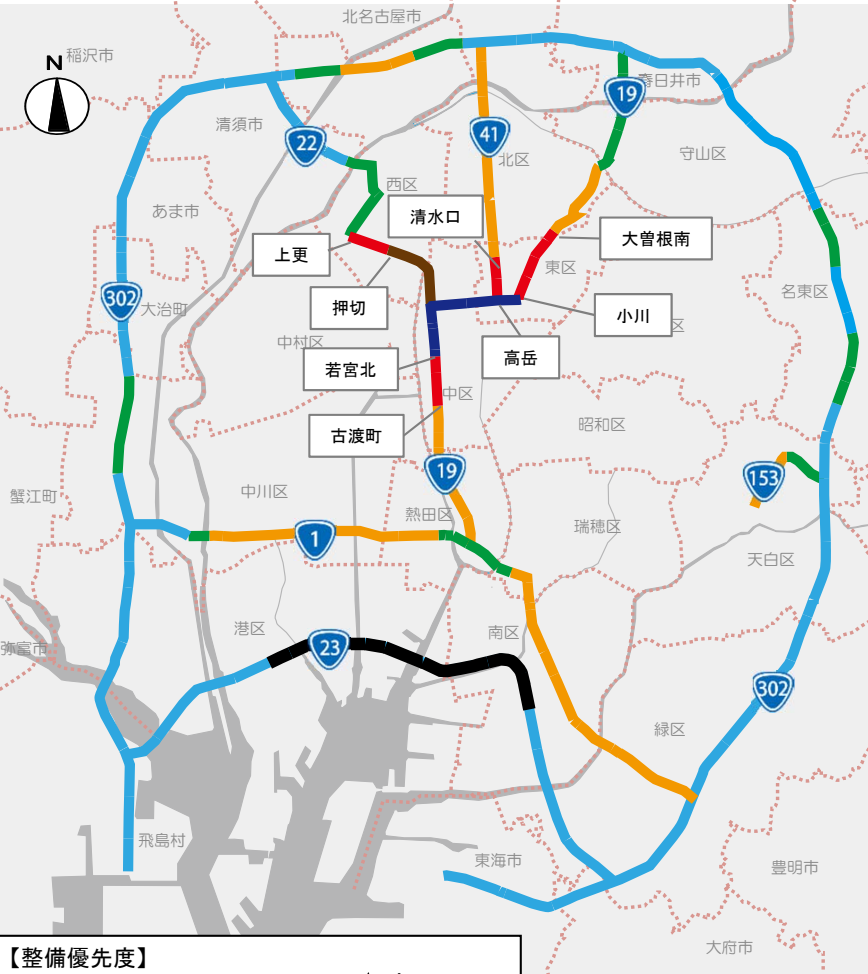
## ■ 整備優先度の検討

- 各指標を以下の考えで得点化し、整備優先度を4段階に区分する。
- 事故率が高い箇所、自転車交通量が多い箇所については、特に早期整備が必要と考えられ、得点配分を設定（平均値の2倍以上の箇所を2点）

視点	指標	整備優先度の考え方 (優先整備箇所)	得点配分の考え方
安全性	自転車事故率	事故が多い箇所	国道302号内側直轄国道の平均値以上 : 1 国道302号内側直轄国道の平均値の2倍以上 : 2
	自転車×歩行者事故率		1件以上発生 : 1
	通学路指定状況	通学路指定がある箇所	通学路に指定されている : 1
自転車利用者の需要	自転車交通量	自転車利用が多い箇所	自転車を分離すべき基準値を超過 : 1 自転車を分離すべき基準値を2倍以上超過 : 2
	自転車利用状況		国道302号内側直轄国道の平均値以上 : 1
	沿線施設配置状況	周辺に学校や駅などが立地し、自転車利用が多いと想定される箇所	1.25km圏内（自転車5分圏内）に施設有 : 1
既整備区間との連続性	既存整備区間（調整中区間）と隣接する区間	既に隣接区間で自転車通行空間が整備・調整されている箇所	既存整備区間（調整中区間）に隣接 : 1

## ■ 整備優先度の検討

### 整備優先度の検討結果



優先度が高い区間（整備優先度A）として、以下の区間を抽出

- ①国道19号（古渡町～若宮北） 約1.2km
- ②国道19号（小川～大曾根南） 約1.8km
- ③国道22号（押切～上更） 約1.0km
- ④国道41号（高岳～清水口） 約1.0km

	①国道19号 (古渡町～若宮北)	②国道19号 (小川～大曾根南)	③国道22号 (押切～上更)	④国道41号 (高岳～清水口)
自転車事故率	20件/km以上 (2)	20件/km以上 (2)	20件/km以上 (2)	20件/km以上 (2)
歩行者× 自転車事故率	0件/km (0)	0件/km (0)	0件/km (0)	0件/km (0)
通学路 指定状況	指定あり (1)	指定あり (1)	指定あり (1)	指定あり (1)
自転車交通量	1,400台/12h以上 (2)	1,400台/12h以上 (2)	1,400台/12h以上 (2)	1,400台/12h以上 (2)
自転車 利用状況	109人以上 (1)	109人以上 (1)	0～108人 (0)	109人以上 (1)
沿線施設 配置状況	沿線施設あり (1)	沿線施設あり (1)	沿線施設あり (1)	沿線施設あり (1)
既存整備区間 との接続区間	接続あり (1)	接続あり (1)	接続あり (1)	接続あり (1)
優先度	<b>A</b> <b>(8)</b>	<b>A</b> <b>(8)</b>	<b>A</b> <b>(7)</b>	<b>A</b> <b>(8)</b>

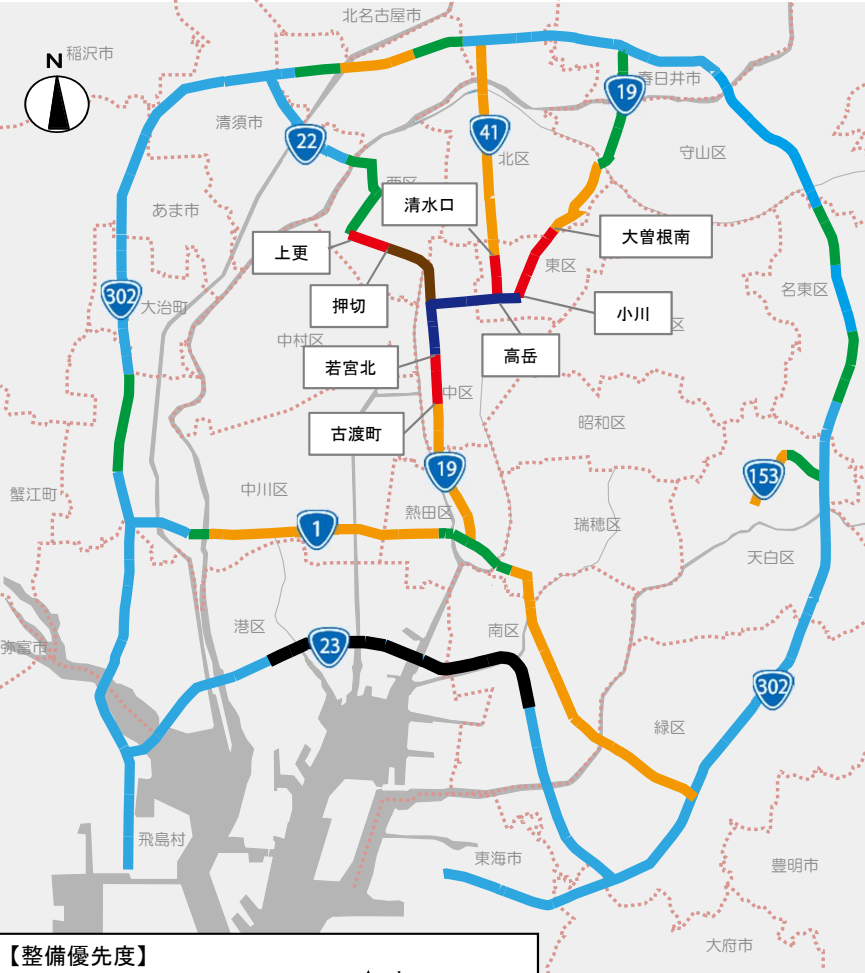
※ ( ) 内は得点を表す

【整備優先度】

- : 優先度A (7点～) ↑ 高い
- : 優先度B (5～6点)
- : 優先度C (3～4点)
- : 優先度D (0～2点) ↓ 低い
- : 検討対象外(高架区間)
- : 既整備区間
- : 調整中区間(H30年度以降整備予定)

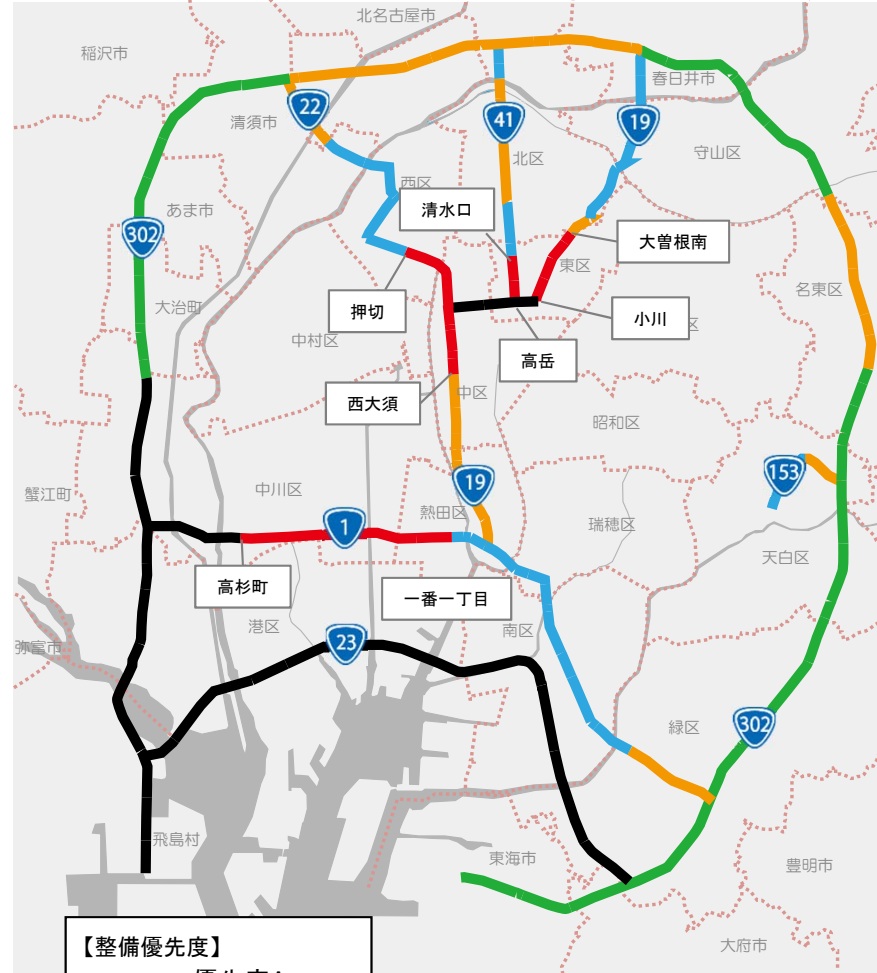
## ■ 整備優先度の検討

整備優先度の検討結果(H29年度)



- 【整備優先度】
- 優先度A (7点~) ↑ 高い
  - 優先度B (5~6点)
  - 優先度C (3~4点)
  - 優先度D (0~2点) ↓ 低い
  - 検討対象外(高架区間)
  - 既整備区間
  - 調整中区間(H30年度以降整備予定)

整備優先度の検討結果(H24年度)



- 【整備優先度】
- 優先度A
  - 優先度B
  - 優先度C
  - 優先度D
  - 整備対象外





# 卷末資料

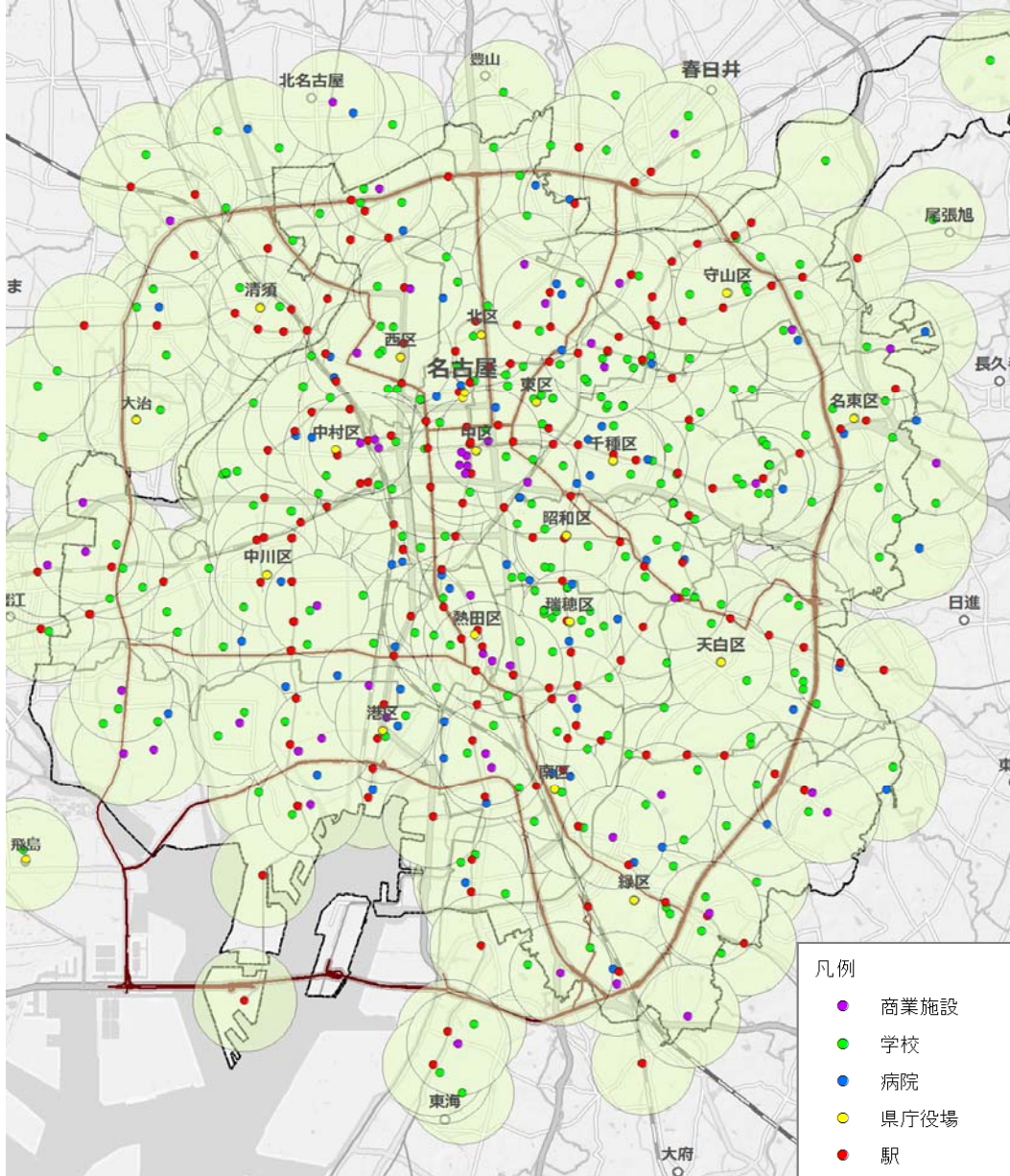
## 2. 整備優先度の検討

### ■使用データ及び集計区間一覧

視点	指標	使用データ	集計区間
安全性	自転車事故率	イタルダ事故データ (H24～H27)	H27センサス区間単位
	自転車×歩行者事故率	イタルダ事故データ (H24～H27)	H27センサス区間単位
	通学路指定状況	通学路調査結果	H27センサス区間単位
自転車利用者の需要	自転車交通量	H17道路交通センサス、 既存交通量調査結果 (H25～H29)	H27センサス区間単位
	自転車利用状況	WEBアンケート調査結果 (H29.7)	H27センサス区間単位 (距離が短い区間は集約)
	沿線施設配置状況	全国大規模小売店総覧2017等 ※詳細は次項参照	H27センサス区間単位
既整備区間との連続性	既存整備区間（調整中区間）との隣接区間	整備状況をもとに設定	H27センサス区間単位

# 2. 整備優先度の検討

## 沿道施設配置状況(半径1.25km圏域)



- ※出典：  
・商業施設：全国大規模小売店総覧2017）※ 10,000㎡以上を対象  
・学校：平成28年度学校一覧（中学、高校）  
：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kyoiku-kikaku/0000000044.html>  
愛知県内の大学：<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kikaku/0000037047.html>  
・病院：あいち救急医療ガイド：[http://www.qa.pref.aichi.jp/es/qa/qa23tpqk\\_sr.asp](http://www.qa.pref.aichi.jp/es/qa/qa23tpqk_sr.asp)  
・県庁役場・駅：グーグルマップ